

商品名 シルデナフィル錠50mgVI「テバ」 医薬品基本情報

薬効	2590 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	一般名	シルデナフィルクエン酸塩錠
英名	Sildenafil VI TEVA	剤型	錠
薬価	0.00	規格	50mg 1錠
メーカー	日医工岐阜工場	毒劇区分	

シルデナフィル錠50mgVI「テバ」の効能・効果

勃起不全

シルデナフィル錠50mgVI「テバ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、硝酸剤投与中、一酸化窒素<NO>供与剤投与中、性行為が不适当又はその恐れ・疑い、心血管系障害、重度肝機能障害、安静時収縮期血圧>170mmHg、治療による管理がなされていない高血圧、低血圧〔血圧<90／50mmHg〕、安静時拡張期血圧>100mmHg、心筋梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以内、網膜色素変性症、アミオダロン塩酸塩<経口剤>投与中、可溶性グアニル酸シクラーゼ<sGC>刺激剤投与中、肝硬変

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 重度腎障害、Ccr<30mL／min、肝機能障害<重度肝機能障害を除く>

記載場所	使用上の注意
注意レベル	慎重投与

3. 心筋梗塞の既往歴が最近6ヵ月以前、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以前、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以前、Peyronie病、陰茎屈曲、陰茎構造上欠陥、陰茎線維化、多発性骨髄腫、白血病、鎌状赤血球性貧血、持続勃起症の素因となり得る疾患、勃起不全治療薬投与中、PDE5阻害薬投与中、消化性潰瘍、出血性疾患、Shy-Drager症候群、多系統萎縮症、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、NAIONの危険因子を有していた、冠動脈障害、心血管系のリスクファクターを有している

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

シルデナフィル錠50mgVI「テバ」の副作用等

1. 血管拡張、ほてり、潮紅

記載場所	その他の副作用
------	---------

2. 心筋梗塞、低血圧、失神、勃起延長、持続勃起、尿路感染、前立腺疾患、鼻出血、気道感染症、副鼻腔炎、霧視、視力低下、網膜出血、網膜静脈閉塞、突発性難聴、過敏性反応、感染症

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

3. 胸痛、動悸、頻脈、頭痛、めまい、傾眠、昏迷、AST増加、悪心、胃腸障害、口渇、消化不良、腹痛、鼻炎、関節痛、筋肉痛、発疹、眼充血、結膜炎、彩視症、視覚障害、CK増加、疼痛、熱感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

4. 高血圧、不整脈、不完全右脚ブロック、末梢性浮腫、異常感覚、下肢痙攣、記憶力低下、興奮、緊張亢進、錯乱、思考異常、神経炎、神経過敏、神経症、不安、不眠症、無気力、ALT増加、LAP上昇、LDH増加、血中トリグリセリド増加、 γ -GTP増加、血清リン脂質上昇、血中アミラーゼ増加、血中アルブミン減少、血中ビリルビン増加、総蛋白減少、おくび、胃炎、胃不快感、下痢、口唇乾燥、舌障害、白舌、腹部膨満、便秘、嘔吐、嚥下障害、陰茎痛、射精障害、朝立ちの延長、半勃起持続、呼吸障害、鼻閉、咽頭炎、喘息、骨痛、背部痛、皮膚そう痒症、眼瞼そう痒症、脱毛症、男性型多毛症、発汗、皮膚乾燥、皮膚障害、紅斑、ヘマトクリット減少、ヘマトクリット増加、ヘモグロビン減少、リンパ球減少症、リンパ球増加症、好酸球増加症、赤血球減少症、赤血球増加症、白血球増加症、眼乾燥、眼痛、屈折障害、光視症、味覚異常、味覚消失、流涙異常、羞明、BUN増加、インフルエンザ症候群、リンパ節症、血中ナトリウム減少、血中リン増加、体重増加、血中尿酸増加、ウロビリノーゲン陽性、尿中ブドウ糖陽性、尿中赤血球陽性、尿中蛋白陽性、疲労、無力症

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

5. 死亡、心筋梗塞、重篤な心血管系等の有害事象、4時間以上の勃起延長、持続勃起＜6時間以上持続する痛みを伴う勃起＞、低血圧増悪、視力低下、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症、NAION、痙攣発作、心原性突然死、心室性不整脈、脳出血、一過性脳虚血発作、高血圧、重篤な心血管系障害、精神・神経系発作、不安、勃起延長、持続勃起、血尿、複視、一時的視力喪失、一時的視力低下、眼充血、眼灼熱感、眼球腫脹、眼球圧迫感、眼圧上昇、網膜血管障害、網膜血管出血、硝子体剥離、硝子体牽引、黄斑周囲浮腫、腸間膜動脈炎、特発性若年性多発性動脈炎

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

シルデナフィル錠50mgVI「テバ」の相互作用

1. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象 降圧作用が増強し過度に血圧を下降

投与条件 -

理由・原因 -

指示 禁止

2. 薬剤名等：一酸化窒素供与剤

発現事象 降圧作用が増強し過度に血圧を下降

投与条件 -

理由・原因 -

指示 禁止

3. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象 降圧作用を増強

投与条件 -

理由・原因 NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強

指示 禁止

4. 薬剤名等：NO供与剤

	発現事象	降圧作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強	指示	禁止
5. 薬剤名等：アミオダロン塩酸塩				
	発現事象	QTc延長作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	類薬とアミオダロン塩酸塩の併用により、QTc延長があらわれる	指示	禁止
6. 薬剤名等：sGC刺激剤				
	発現事象	症候性低血圧	投与条件	-
	理由・原因	リオングアト投与によりcGMP濃度が増加し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの細胞内濃度が増大し、全身血圧に相加的な影響を及ぼす	指示	禁止
7. 薬剤名等：チトクロームP450 3A4阻害薬				
	発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇、本剤の最高血漿中濃度＜Cmax＞の増加、本剤の血漿中濃度－時間曲線下面積＜AUC＞の増加	投与条件	-
	理由・原因	代謝酵素阻害薬によるクリアランスの減少	指示	慎重投与
8. 薬剤名等：α遮断剤				
	発現事象	降圧作用が増強、めまい等の自覚症状を伴う血圧低下	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	慎重投与
9. 薬剤名等：PDE5阻害薬投与中				
	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
10. 薬剤名等：勃起不全治療薬投与中				
	発現事象	-	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	注意
11. 薬剤名等：チトクロームP450 3A4誘導薬				
	発現事象	本剤の血漿中濃度が低下	投与条件	-
	理由・原因	代謝酵素誘導によるクリアランスの増加	指示	注意
12. 薬剤名等：降圧剤				
	発現事象	降圧作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	注意

13. 薬剤名等：カルペリチド

発現事象 降圧作用が増強

投与条件 -

理由・原因 本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する

指示 注意

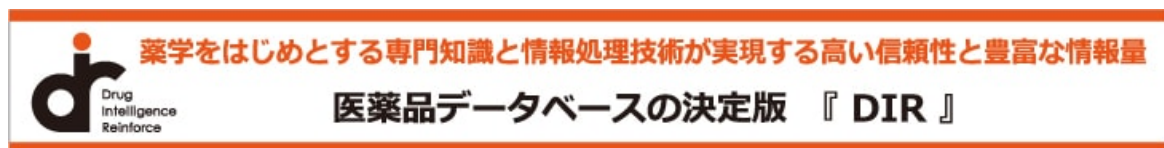
14. 薬剤名等：喫煙等

発現事象 視力低下、NAION、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.